

<h1>情報システム実習</h1>		学 年	2 年	単 位 数	4 単位
科目の概要	情報システムの開発技法や制御システムの基礎について学び、広い視野を持って情報処理技術者試験に臨む。また、1年次に履修した基礎知識、技術をベースに、実践的なプログラミング練習を積んで、論理的思考力を高める。				
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制御の仕組みや情報システム開発に関する知識の習得 ・ 国家資格取得（ITパスポート、基本情報技術者試験） ・ アルゴリズムを組み立てる力やプログラミング力の強化 				
使用教材	情報産業と社会（実教出版）継続使用、情報処理技術者試験用問題集、自作教材プリント				
内容・進 度 ・形 態	1 学期	2 学期	3 学期		
	<p>1. ITパスポート試験対策 (4、5月) 基本情報技術者試験修了 試験対策(6、7月)</p> <p>2. 個人用ノートパソコン 設定実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク設定 ・ ソフトウェア インストール <p>3. C言語プログラミング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ システム開発の基礎 ・ ペアプログラミング ・ 実践問題 (パソコン甲子園過去 問題等) <p style="text-align: center;">↓</p> <p>パソコン甲子園予選へ</p>	<p>4. 基本情報技術者試験対策 (10月第2週まで)</p> <p>5. 計測・制御システムの基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ライントレースカー ・ 電子回路図 <p>6. 情報モラル 「問題意識と態度・行動」</p>	<p>7. モバイルアプリ開発の 基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HTML ・ CSS ・ javascript ・ 開発技法 ・ グループワーク 		
学習方法	情報処理技術者試験取得に向けた授業では、集中して多くの問題を手際よく解いていくこと。また実習や演習では、自分なりに学んだことをノートに整理していくこと。報告書がきっちり丁寧に書ける、きれいに効率よくファイリングすることが求められる。				
留意事項	1年間を通してファイルやノート、データの提出などを頻繁に行う。提出物は、評価中かなりの重みを占めるので期限内に提出できるように準備しておくこと。なお、購入した個人ノートパソコンの設定は、この授業の当初に行う。				